

# ぎかいだよりむらやま



写真/  
若手ががんばるVOL.6  
女性獣医 高橋 一希さん

<http://www.city.murayama.lg.jp> 携帯からはコチラ→



2015  
vol.87

2015年10月15日  
発行

# 平成26年度決算を認定

## 財政状況やや改善

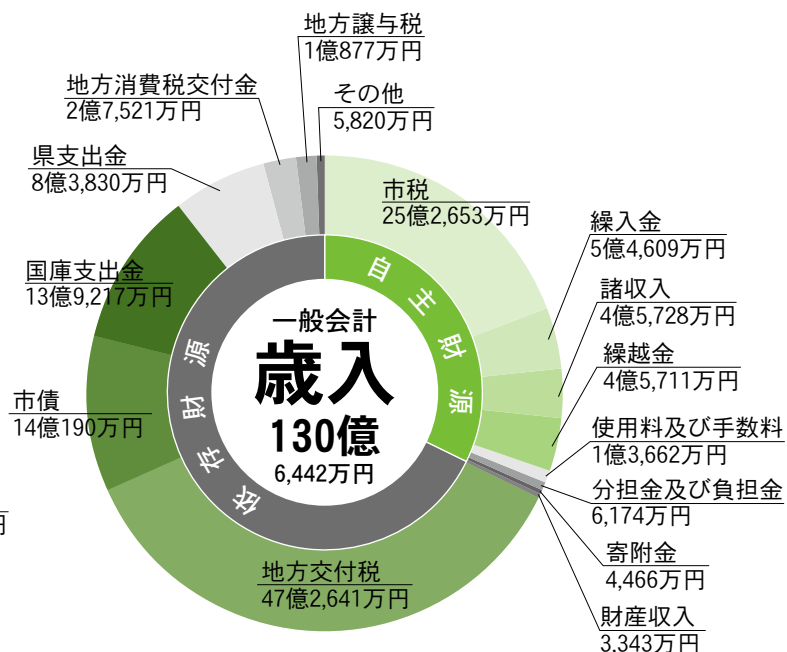
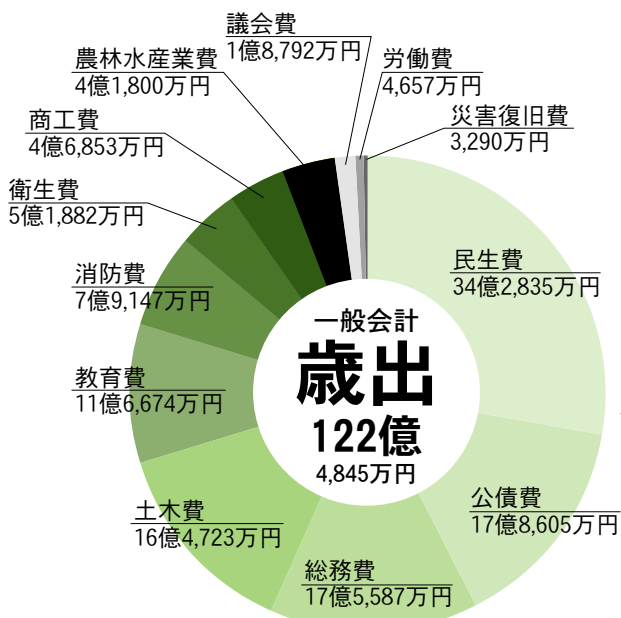
### 第4回定例会を開催

平成27年第4回定例会は、8月31日から9月17日までの18日間の会期で開催され、平成26年度の決算9件が認定に付されました。

決算については決算特別委員会に付託され各常任委員で構成される分科会において分担審査が行われ、最終日に本会議で認定されました。

また、条例については個人ごとに番号が付けられるマイナンバー制度の導入に伴い、関係条例2件を含む3件のほか、市長等常勤特別職の給料について、さらに2年間の減額措置を行うための一部改正条例も原案どおり可決されました。

さらに、一般会計など補正予算6件、人事案件2件、その他の議案3件も原案どおり可決されました。



〈各会計決算の概要〉

(単位：円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	
一般会計	13,064,424,503	12,248,446,210	815,978,293	
特別会計	国民健康保険事業	2,842,260,765	2,777,569,156	64,691,609
	公共下水道事業	1,120,767,237	1,114,955,629	5,811,608
	財産区特別会計	2,885,300	2,656,544	228,756
	農業集落排水事業	100,099,866	97,064,989	3,034,877
	土地区画整理事業	20,277,988	20,177,631	100,357
	介護保険事業	2,479,987,035	2,445,292,992	34,694,043
	後期高齢者医療事業	290,600,825	286,596,353	4,004,472
合計	19,921,303,519	18,992,759,504	928,544,015	

# 決算特別委員会



決算特別委員会委員長

鈴木健治

今議会の初日に設置された決算特別委員会（委員長鈴木健治議員）は、平成26年度決算について、総括質疑が行われた。

主な質問事項は、次のとおりである。

1. 第一子保育料半額補助
2. 流雪溝整備構想調査作成業務委託料
3. GOGOむらやま夢・体験プラン負担金
4. みどり環境交付金事業
5. 山形の木普及・利用促進事業補助金
6. 民有林林道整備事業
7. 村山市DC実行委員会負担金
8. シャトルバス運行業務委託料
9. 図書購入費
10. 市民税不納欠損額等
11. 楯岡東部地区開発基本構想策定業務委託料
12. 国民健康保険税不納欠損額等
13. 道路維持管理事業
14. 番号制度導入に伴うシステム改修委託料
15. 個人番号制度中間サーバー利用負担金
16. 校舎等整備事業

決算の詳細審査のため、常任委員会ごとの分科会を設置し、分担審査を行い、各委員会から下記のような意見・要望が出された。



袖崎の地域密着型介護施設



新調なった防寒着で出初式



完成した大久保小学校

## 総務分科会報告

1. 定住対策は、第五次村山市総合計画のなかで大きな柱でもあることから、若い世代が購入しやすく住みやすい住宅団地の造成を検討すべきである。
2. 空き家の利活用について、市内の空き家の状況を各課連携のうえ調査し、活用できるものは空き家バンクに登録するなど定住促進につながるよう努めること。
3. 市税の徴収実績は、前年度よりも若干回復したものの、徴収率からすれば、県内13市中、後順位に位置することから、その向上に全力をつくすこと。
4. 高齢者運転免許証自主返納については村山市独自の制度であり、市民からの評価も高く、高齢者の交通安全に大きく寄与していることから、制度の利用についてPRを強化すること。
5. 駅西開発の商業施設誘致について、政策投資が大きいことから、支援

策を積極的に提示し、成功策を望む。

## 文教厚生分科会報告

1. 18年間継続してきたカナダバリー市友好交流事業は、市民への周知が少ないと思われるので、計画的な予算執行により浸透策を望む。
2. 山形交響楽団公演は、市民が身近に鑑賞できる機会であり、さらなるPRを望む。
3. 市内の児童遊園の遊具が老朽化しているの遊具の点検更新を望む。
4. 戸沢保育園等の指定管理については、保護者への十分な説明など連携を図り、スムーズに移行できるように望む。
5. 健康づくり事業は多く、健康生活に寄与し助成制度もあり、大変有効である。市民へのPRを検討すべきである。
6. 国民健康保険証の交付と合わせ、国民健康保険収納率向上対策にも努力されるよう望む。

## 産業建設分科会報告

1. 21年目となる徳内ま

つりは、今や、山形県を代表する祭りとなっている。

祭りの将来は次代を担う子どもたちにかかっている。子どもたちの祭りに対する認識を確かにし、地域に対し、また、村山市に対する愛情が芽生えるよう地域ぐるみの振興策が必要である。

2. 「徳内ものづくり促進事業補助金」は大変有効である。今後様々な分野で活躍する企業が出るよう積極的に融資や補助制度を進めるべきである。また、店舗の外装をきれいにすることも街の活性化につながるものと考えられる。商工会とも連携し、国の補助制度などを有効に活用できる体制づくりも重要である。

3. 村山市には他の観光地に負けない魅力的な風景も多いことからロケ地としても格好の地である。

4. 徳内シーボルトライオンは、市民の理解を得るため沿線の有効活用を図るべきである。

5. 仙台村山会との交流拡大の推進を望む。

# 条例および請願・補正予算など

## 議案を審議

### 議案

#### 条例

(関係常任委員会において審査を経て本会議で審査)

**1** 村山市個人情報保護条例の一部改正  
(マイナンバー関連法の施行による改正)

**2** 村山市市長等の給与の特例に関する条例の一部改正  
(市長等常勤特別職の給料減額措置の期間延長)

**3** 村山市手数料条例の一部改正  
(マイナンバー通知カード再交付手数料の新設)

**4** 村山市文化財保護条例の一部改正  
(条文整備)

#### 補正予算

(主な補正)

一般会計1億5千368万8千円などを追加補正

**1** 楯岡小学校・袖崎小学校調理業務委託の債務負担行為1億3千306万7千円

**2** マイナンバー制度関連の戸籍住民基本台帳費1千96万2千円

**3** 放課後児童健全育成事業2千853万円

**4** 民有林林道整備測量設計委託料201万円

**5** 市道駅西線測量設計委託料810万円

#### 請願

【請願第2号】TPP交渉に関する請願(賛成多数)

【請願第3号】米価暴落対策の意見書を求める請願(賛成少数)

【請願第5号】「平和安全法制」法案の徹底審議を求める請願(賛成少数)

総務委員会は賛成多数

【請願第6号】TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する請願(賛成多数)

【請願第7号】「年金積立金の安全かつ確実な運用に関する」請願(賛成少数)

【請願第8号】教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書提出を求める請願(全会一致)

#### 発議

**1** 村山市議会委員会条例の一部を改正する条例(議員の定数減少に伴い、常任委員会の数を3委員会から2委員会に改正)

**2** 村山市議会会議規則(平成27年11月1日施行)

の一部を改正する規則(女性議員が出産を理由に本会議や委員会を欠席できる制度を設ける)

#### 意見書の提出

**1** TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する意見書

**2** 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

#### 人事案件

○固定資産評価審査委員会委員の選任(任期満了による再任)  
大沼廣志氏(楯岡)

○人権擁護委員候補者の推薦(前任者の任期満了)  
高橋春實氏(大槇)

ここが 聞きたい

# 一般質問

## Q & A

本定例会の一般質問は9月2日・3日に9人の議員が行いました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



北村山公立病院の運営について

長南 誠 議員

**Q** 北村山公立病院は二次医療機関病院として、地域住民の生命と健康を守っている。三市一町の負担金も年々増大、未処理欠損金も25億円近くあり経営に影を落としている。臨床研修医制度改革などにより、医師確保が困難で医師不足となり、医療収益が減っている。今後施設の老朽化、高度医療機器購入で経費も増大する。県の支援を受け運営を検討してはどうか伺う。

**A** 負担金が増え大変になってくる。経営を見ながら、地域の中核病院として継続の方向で考える。三市一町の首長が県知事に要望したが、県の対応は厳しい状況である。

**Q** 県の救急告示病院に なっており、要望を 継続して行い将来は地域 住民運動にすべきである。

**A** 要望は継続する。場合によっては市民運動につながりたい。そのようになれば嬉しい。

**Q** 指定管理者制度は原則公募であるが、現状は随意契約で行っている。今後の指定管理の選定、契約期間、委託料の中での職員待遇改善につ

**A** 期間3年に苦慮する。長期契約が職員の待遇改善になるか不明瞭だ。今後は現在の契約条件が業務委託契約にするか検討する。現在契約している団体にも業務委託が良くないと思うものもある。



導入した最新鋭のCT装置



## 高速道開通に合わせ 新たな道の駅計画を急げ

井澤 秋雄 議員



完成が間近な東北中央自動車道

**Q** 高速道開通も間近に迫っている。村山インター予定地は、市の中央に位置し、基点温泉にも近い。この際、特色とアイデアに富んだ新たな道の駅構想を打ち出すべきでないか。その規模はどの位を想定しているか。

**A** 現在、検討委員会を立ち上げて検討しており、三つの案が出されている。国道13号沿いか、集客が見込めるインターチェンジの側にするか検討中である。規模は2万㎡ほどを考

えている。

これからの道の駅は、子どもの遊び場として、大人の休憩施設として、また、夜の交流場としてなど特色ある休憩施設が望まれると思う。

今のところ、産直施設のほか、子供連れが集まる施設など特色のある施設を考えていきたい。

**Q** 高速道の開通による国道13号への影響はどう推測しているか。

**A** 現在、国道13号の交通量は3万台から3万5千台であるが、高速道が開通すれば、国の推測によると1万4千台位とみており現在の道の駅に与える影響は極めて大きいと思う。

**Q** このほか、地方創生の総合戦略、次世代の引き継ぐ「村山市の魅力」の要素を取り上げ、教育の重要性について質問。



## さらなる定住促進策を

秋葉 新一 議員

**Q** 村山市に定住することを目標に今年6月受付開始した村山市子育て応援・定住促進事業補助金の現在の問い合わせ申し込み申請状況は。

**A** 25件で、市外は7件。

**Q** 市内からの定住と合わせ市外からの移住策、両方取り組むべき。ハローワークとの連携、民間活用による子育て世代のニーズにマッチした住宅政策を検討しては。

**A** 移住については、案件の充実、ハローワークとの連携、情報発信等検討したい。今楯岡二日町でミニ住宅団地を造成している。その結果に注目している。「シェアハウス」もいろいろかもしれない。

**Q** 市民が健診を受診したり健康講座に参加したりするとポイントが得られ、ポイントがたま

ると特典が受けられる「健康マイレージ事業」を。

**A** 今年は温泉や食などを活かした健康づくり事業を実施している。来年度マイレージ事業実施に向けて検討する。

**Q** 厚労省が来年度から始める事業。健康つ

くりへの取り組みに特典を与える「ヘルスケアポイント」制度を市も検討すべき。

**A** 今後どのような予防・健康づくり支援ができるか、健康づくりの意欲を起こさせる当制度も含め前向きに検討する。



造成中の楯岡二日町ミニ住宅団地



## まちづくりと観光行政について

菊池 貞好 議員

**Q** 21年の歴史のある村山徳内祭り開催の財源確保のため駐車場の有料化、有料棧敷席の設置など考えてみてはどうか。

**A** 市では毎年1千万円の補助金を計上しているが、それでも足りない状況で将来の祭り運営については財政難の観点

からこれからも関係者で考えていかなければならぬ問題である。

**Q** 林崎甚助重信公が建立した日本一社居合神社を村山市の観光スポットにしてはどうか。

**A** 政教分離の点でなかなか市が関与するのは難しい問題はある。将



日本一社居合神社を観光スポットに

来鶴ヶ町西線の道路計画が村山産業高校より北へ延伸して居合神社まで道路が通ればアクセス面の充実はあるが、これからは神社周辺に「市の公園」または「神社の森」などの整備を市としても考え検討していきたい。

**Q** 駅西開発は村山市民の最大の関心事であるが、大沢川沿いの桜並木を将来の駅西の賑わい創出の目玉として考えてはどうか。

**A** 植えてから30年ほどたつが今が見頃なりっぱな桜に成長している。地元の人々の意向が第一になると思うが、桜のライトアップなど花見シーズンの桜の演出を市の河川担当と地元住民で話し合いをして実施する方向で前向きに進めていきたい。



## 村山市にボートピアはいい

川田 律子 議員

**Q** 改定なった介護保険制度が8月より具体的に実施されているが現状を問う。①要支援者の保険外しについて②特養ホームへの入所が原則要介護3以上になったこと

での影響は③利用者負担が所得により2割負担になった人数は④低所得者の食費、室料補助の削減で該当する人数は⑤介護保険料の滞納で利用出来ない実態はないのか。

**A** 要支援者は250名で現行と同等のサービスが受けられる。後退することははない。②要介護1・2で特養ホーム入所している人は引き続き入所出来る。また認知症など状況により入所が可能であり4月から3人入所している。③全体の2割と言われているが本市は1千856人中62人該当する。④これまで通りの人は310件、非該当者は29件である。



ディサービスでの好評なボランティア活動の様子

る。⑤年金以外の徴収で1年以上の滞納者は25年58人、26年61人である。現在滞納で利用が出来ないという事例はない。

**Q** 西郷・河島地区にボートピア（場外舟券売場）建設の動きがあるが、市長はそれを把握しているのか。子ども達

への影響について教育長はどう考えるのか。

**A** 話しは杉島地区のふれあいトークの要請があった時に聞いた。民意を聞いて慎重に進めていく。子ども達の環境を守る立場で具体的な動きを注目していきたい。



## 学校給食の調理業務民間委託に 反対する

中里 芳之 議員



小学校の自校直営給食（来年度民間委託予定は楯岡小と袖崎小）

**Q** 環境保全協定第9条は、水質が基準値以内かどうかではなく、「基準を遵守できなくなる恐れ」が生じたかどうかを問題にしている。未処理水を放流したアシストの行為は協定第9条に明らかに違反するではないか。

**A** 9条は、業者の故意による行為を想定していない。よって、水質検査の結果によって9条に違反する。  
**Q** 安全・安心でおいしい給食を子どもたちに提供する上で、調理業務の民間委託はなぜ問題ないと言えるのか。

**Q** 現在の調理室を用いて調理部門のみを民間委託するので問題ない。  
**Q** 市は、こと細かな指示を委託業者に行うことはできない。発注者が指示すればするほど偽装請負に近づき、偽装請負を避けようとするほど、安全・安心で良質な給食に市は責任を負えなくなるのではないか。  
**A** (答弁なし)  
**Q** ①戦争法案をどう思うか。平和宣言都市として反対の意思表示をすべきではないか。②自衛隊は中学校の職場体験学習の場としてふさわしくないのでは。  
**A** ①国会の議論を見守る。②災害救助に限っては意義がある。  
**Q** これでは職業として自衛隊を選ぶべきかどうか子どもは判断できない。



## 次世代をつなぐ村山市の 今後の方向性は

原田 昌浩 議員

**Q** 第5次村山市総合計画（次世代への架け橋プラン）における、様々な施策が掲げられている。これらの推進に重要なのは、市民との協働とその他民間活力は不可欠。市の中に縦割りを無くし、各地域活動やNPO法人を把握し、効率的な活動を導き支援する所管を創設し、市民への啓蒙と、他地域の民間活動グループをも受け入れる姿勢を内外に示すべき。  
**A** 縦割りを廃し、政策を推進する必要性は認識している。政策推進課において、さらに縦割りを越えた所管としていき政策の推進を行う。  
**Q** 市民協働と民間活力を観光事業に連動させていくべき。各イベントや各地域活動で年間を通して、地域観光資源の整理と発掘、文化の継承につなぐ団体などを育て

れば地域振興と着地型観光が成り立つのでは。  
**A** 各イベントや観光地をいかにつないでいくかは、市民の協力・協働は不可欠。市民の皆様との意見を聞きながら、今後も努力していく。  
**Q** 第5次総合計画においては、災害の少な

い村山市こそ、自然・再生可能エネルギー問題に、青森県弘前市のような「クリーンエネルギー村山」の姿勢を示すべき。  
**A** 計画には書いてないが、以前より関心を持って研究している。



弘前市の下水汚泥を活用した水素製造実施地





## カナダ・バリー市との 姉妹都市締結を

森 一弘 議員

**Q** 都市間交流事業は、観光・文化・教育などプラスになること大である。グローバル社会に向けた教育をさらに進める上でも、高校生交流が長いカナダバリー市と姉妹都市締結をすべきでは。



カナダ・バリー市との交流

**A** 来年までには何らかの形にしたい。姉妹都市、友好都市などのような形態にするのを検討し図っていきたい。

**Q** グローバル社会の構築を掲げている村山市だが、以前行っていた徳内まつりでの英語アナ

ウンスを何故やらないのか。

**A** 外国語アウンス良いと思う。予算やどこまでやるのかも検討する必要があるので。先進地調査して考えて行きたい。

**Q** ふるさと納税事業、手続が簡略化され税控除額も2倍に拡大された。当市の対応は。

**A** 本年度すでに6千547万円の実績がある。

より良い事業にすべく各課横断8名で推進班をつくり仕組りに取り組んでいく。当市は優良農産物の産地である。返礼品の流れを新しい販路の一つと捉え戦略を練るべきだ。企業版ふるさと納税も始まるようだ。使途の重要度が益々高まっている。全国的な知名度がある、居合・最上川三難所などの絞った事業を発信し賛同してもらい、ふるさと納税件数増を目指す。



## 快適に暮らす市道整備は

大山 正弘 議員

**Q** 現状の道路行政問題と課題についての認識を伺う。

**A** 楯岡旧道の東側一帯は、40年間変わっていない。今後楯岡小学校の改築で多大な予算が必要になる。楯岡東根温泉線、村山インターから駅西までは財政面を考慮して実施する。市道は約320kmのうち、幅員6.5m未満が70%で将来修繕と維持管理の費用と財政負担も考え実施していく。

**Q** 楯岡鶴ヶ町西線拡幅事業内容とは。

**A** 7月中旬に開かれ関係者約130名の内74%が出席で、関心が高い。早期に事業完了してほしいと強い要望があった。全延長は、2.5kmで、事業費は約15億円かかるので、速やかに完成するように努力していく。



現在の楯岡東根温泉線

**Q** 鶴ヶ町西線は道路整備だけでなく周辺の宅地開発も行うべきでは。

**A** 規模の大きさは決めているが、将来鶴ヶ町団地の北側は住みやすい居住性ある形にしたい。

**Q** 村山産業高校に期待する市長の思いとは。

**A** 村山産業高校は、大切に育てる。多くの特産品の開発に挑戦している。農業科・工業科に加え新たに商業科が設置になり、大学への推薦枠が取れば良いと考える。素晴らしい高校へと名声を上げる努力をする。

# 一連の議会改革終了。 新しい枠組みでスタート。

昨年11月に設置された議会改革検討特別委員会において、5つの項目について約1年をかけて検討して来ました。

このたびの9月議会において、改革案が了承されました。以下改革内容を説明します。

《議員定数が16人に》  
従来の17人から1名減の16人になりました。

《議員報酬は変わらず》  
議員報酬については、現行どおりの月額報酬36万円になりました。

《常任委員会が再編》  
定数削減に伴い、従来の3つの委員会を再編し、「総務文教常任委員会」「産業厚生常任委員会」の2つの委員会になりました。

《一問一答方式導入》  
よりわかりやすい議会を目指し一般質問の時に従来のやり方に加え、一問一答で質疑を行う方法のどちらかを選択出来るようになりました。

《議会報告会のあり方が変わります》

開催時期を年二回にし、活動報告だけの報告会ではなく、二部制にして、市民との意見交換の場を設けます。

《災害時の議員の行動指針が出来ました》  
大規模災害が発生した場合に、市の災害対策本部と連携を図るために、議会独自の対応要領を定めました。

より開かれた議会、活性化を目指し議会改革がスタートし、村山市議会が始まって以来の「参考人の意見聴取」や「議員間討議」などを経て、議会改革検討特別委員会の仕事が終わりました。

ここに至るまで、様々な議論がなされましたが、この結果はあくまでも議会改革の端緒であり、最終形ではありません。今後も不断の努力を怠らず、議員一人一人が、市民目線に立った議会運営を心掛けなければなりません。

市民の皆様も議場に足を運び、または議会のネット中継などを注視していただきたいと思います。

\*\*\*\*\*

## 審議結果報告

(9月定例会において賛否の分れた議案についてのみ掲載しました)

議員名	議決結果	市政クラブ										青風会		日本共産党 村山市議団		改革クラブ		無党派		賛成	反対	
		齋藤ひろみ	井澤秋雄	長南誠	鈴木健治	森一弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	佐藤敏彦	布川淳一	川田律子	中里芳之	原田昌浩	菊池貞好	佐藤昌昭	大山正弘	海老名幸司				
市長提出議案	決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	○	○	○	○	議	13	2
	予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	○	○	×	○	議	12	3
	条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	○	○	○	○	議	13	2
	条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	○	○	○	○	議	13	2
	条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	×	○	○	○	議	11	4
請願	請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	×	○	○	議	13	2
	請願	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	○	○	○	×	×	議	4	11	
	請願	否	×	退	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	○	×	議	6	8		
	請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	×	○	○	議	13	2
	請願	否	×	退	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	○	○	×	議	6	8	

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決    否=否決    ○=賛成    ×=反対    欠=欠席    退=退席

# 百問は一見にしかず!!

## よりよい行政のための 視察 レポート

### 総務常任委員会 行政視察

江戸中長期における北方探検家として知られる最上徳内の生誕地が村山市であることから北方領土の早期返還に取り組み北海道根室市を視察した。

根室市は、昭和42年には人口4万9千人を超えていたが、昭和52年の200海里施行、さらには平成4年からは公海でのサケマス沖獲り禁止により、平成27年4月現在の人口は2万7千822人に減少している。

根室市では、このような事態に鑑み、全国民の先頭に立ち、北方領土返還運動を展開している。元島民の減少、高齢化が進むなか、返還に対する絶望感、疲労感が懸念されている現状である。



### 産業建設常任委員会 行政視察

石川県小松市の環境大國こまつプロジェクト・六次産業化推進について。環境大國とは、農産物

に適した自然環境と、農業と消費のバランスが保たれた都市に国から与えられるものである。取り組んでいるのが、地元農産物のビューレ化事業で、規格外の農産物の需要拡大を目指している点は、村山市でも取り組みを検討すべきである。

富山県射水市の地域ブランド戦略について。

交流人口の増加を目標に、市民や事業者および市との協働で事業を実施。「水・食・祭り」で全国に向け発信するものである。

### 北村山公立病院 議員研修会

7月21日、北村山公立病院の運営状況と課題についての議員全員研修会を行った。

北村山公立病院は昭和37年に開設以来、半世紀を経過し、施設の老朽化が目立ち始めている。また運営に必要不可欠な医師の確保については、日本医科大学の全面的な支援のもとに派遣を受けて来たが、その人数はピーク時の38人から現在は27人に減少している。

その結果、機能の縮小を余儀なくされ、患者数と医業収益は減少している。今後、基幹病院の役割を果たすべく中長期財政計画を策定し、地域に愛され続ける病院を目指している。



### その他の研修

#### ● 市政クラブ

神奈川県山北町で小さな拠点づくり事業。農水省職員による六次産業化の展開について講義を受けた。移住・交流情報ガーデンを視察研修した。

#### ● 改革クラブ

東京都豊島区で特別養護老人ホームの待機者の現状と対策についてと、まちづくり、地域づくりを目的としたNPO法人の活動について研修した。

#### ● 市議会議長会研修

防災と危機管理について、まちづくり計画研究所長「渡辺実」氏の講演を受講。普段からの災害に対する準備を忘れないことが大切である。

#### ● 産業建設常任委員会企業視察

土谷食品(株)、京浜パネル工業(株)を視察。土谷食品では水道使用料金が高く、コスト削減に苦慮している。

#### ● 文教厚生常任委員会管内視察

葉山中学校で新しく導入した電子黒板による授

業を視察。生徒の活発な授業態度に感銘した。

### 永年勤続議員表彰

このたび、全国市議会議長会より、次の方々が表彰されました。

おめでとございます

◆ 勤続25年特別表彰

海老名幸司議員



◆ 勤続15年表彰(左から) 大山正弘議員、柴田好美議員、秋葉新一議員、森一弘議員、中里芳之議員



# 市民の声



渡辺 善夫 さん (湯野沢)

地区代表をしていますと、地域との様々な関わりを持つようになります。実際に関わってみますと、諸先輩方の努力に頭の下がる思いです。



道路清掃

自分一人では何も出来ませんし、皆様のご協力と手助けで、何とか務まっている状態です。

富本地区でも、少子高齢化の問題をはじめ、多くの問題があります。ため息をついて嘆いても、何ともなりません。ほんの一步でも前に進めればと思います。

街づくり協議会長はじめ、自治会長、協力会長のもと、各地区代表一丸となって、前を見て行ければと考えております。

そのためにも、地域の皆さんが、ワイワイガヤガヤ大いに声を上げて、ニギヤカにしましょう。

子どもから若者、年輩の方もみんなが夢や希望を持てるような地域を、次に繋げて行くのが、今の

私達の努めではないでしょうか。活力あるところに、明日への変化が生まれます。



レクリエーション大会



敬老会

## 〈表紙写真〉

大好きな牛と自然と家族に囲まれて仕事ができ、とても幸せです。良い牛を育てられるよう、牛と対話して頑張ります。



## 議会報告会のご案内

1、平成27年11月16日(月) 午後7時～  
●西郷地区 ●大久保地区

2、平成27年11月17日(火) 午後7時～  
●楯岡地区 ●富本地区

皆様！多数の参加をお待ちしております。

### 第6回

## 議会だよりクイズ解答

Q1：正解 ②恋人の聖地 Q2：正解 ①40,000人

正解者2名の方に粗品をお送りしました。今回のクイズはお休みさせていただきます。

### 議会だより編集委員会

委員長 大山 正弘  
副委員長 川田 律子  
委員 秋葉 新一  
長南 誠  
布川 淳一  
井澤 秋雄  
故佐藤 敏彦



今期改選に伴い編集委員が次回より変わります。多くの市民の皆様のご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも親しまれる、読みやすい紙面づくりに邁進いたします。

編集委員でありました佐藤敏彦さんが9月18日に逝去されました。ご冥福をお祈り致します。